

古今東西の芸術文化に思いを馳せて

近道のない理論的研究から得られるものとは

私は、様々な地域で築かれてきた芸術文化、なかでも西洋（特にイタリア）と日本近代の美術や文化に魅せられ、それらの歴史を研究しています。そしてこれまで、イタリアのサクロ・モンテ群をはじめとする数多くの巡礼施設や教会堂などを訪問し、そこに残された優れた作品の数々を見てきました。美術史の基本は、根気強いフィールド・ワークと収集した史・資料の分析、分析結果を根拠とした仮説の論証にあります。芸術文化コースの学生たちは、世界の美術史を学んで高度な専門知識を身に付けていきますが、同時に、その過程の中で様々な疑問を抱き、それらの問題を解決すべく筋道を立てて考え発表することで論理的思考や問題解決力、プレゼン力をも身に付けていきます。美術史のような人文系の学問では、その成果は必ずしもすべてが実益に結びつくものではありませんが、疑問を実証的に論証していく方法を修得していれば、将来どのような職業についたとしても、プレゼンなどを通して周囲に納得してもらった上で問題を解決していくことができるでしょう。西洋や日本の未開拓の芸術文化を紹介すべく、学生と共に調査・研究に励んでいます！

芸術学部 美術学科（芸術文化コース） **関根 浩子** 教授



崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部			情報学部	芸術学部			
薬学科	応用微生物工学科	応用生命科学科	機械工学科	ナノサイエンス学科	建築学科	宇宙航空システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082

熊本市西区池田 4-22-1

問い合わせ（入試課直通）

TEL:096-326-6810

そうじょう大学

検索